

弾塑性法による土留め工の設計で用いる鋼材データの誤りについて

弾塑性法による土留め工の設計で用いる鋼材データにおいて値の誤りがありました。

Ver.5.00.13 以降のバージョンアップ時に再インストールする処理を行い、鋼材データを修正したプログラムを配布いたします。

その際に、鋼材データを初期化するため、以前までに自身で登録していた鋼材データが失われますので、ご理解ください。登録データは、コピー＆ペーストが可能な形式となっております。再インストールを実施する前に Excel 等にデータを保持しておき、最新となった鋼材データに張り付けていただくことは可能ですが、ご自身で作業をお願いします。

下表に修正箇所を示します。

鋼材データの正誤表

大分類	鋼材名称	項目	値（誤）	値（正）
土留め壁（リース材）	H-250*250*9*14	断面積	78.10 →	78.18
土留め壁（鋼矢板）	YSP-U28	名称	YSP-U28 →	YSP-U23
	LSP-2 型(t=5mm)	断面係数	59.8 →	59.7
	LSP-3A 型(t=5mm)	鋼材高	6.0 →	5.1
	Φ 1000(25mm)P-T 型	データ	データ削除	
	Φ 1500(15mm)P-T 型	データ	データ削除	
支保工（生材）	H200*200*8*12	断面積	49.90 →	63.53
支保工（リース材）	H250*250*9*14	断面積	78.10 →	78.18